



Nepal Blind Support Association

ネパールの視覚障害者を支える会会報

第 24 号 2009 年 7 月 総会特集

NBSA : <http://NBSA.sakura.ne.jp/>

主内容：豪華絢爛シバ君の結婚式/2009 年度総会報告/砒素地帯に生きる人々/
ネパールの民話とよもやま話/ネパール製品が買えるフェアトレードのお店



絢爛豪華、シバ・アチャルヤ君の結婚式 おめでとう！！

上は今年の 2 月にゴールインしたカップルの写真。右下はお祝いに駆けつけた大勢の仲間たち。

「 幸せいっぱい・夢いっぱい 」。

シバ君は、現在ネパールで軍事監視活動を行う国連ネパール政治支援団 (UNMIN) で通訳と翻訳の仕事をしている、ネパールの視覚障がい者の中では最も出世した男。ポカラ市出身。彼はまだ 30 歳にも満たないが、おらかでのんびりした彼の振る舞いの影には、聞くに堪えないつらい道のりを歩んできたのだ。辛い話はいつの日かまたじっくり語りたい。今日は日本の皆さんから彼の結婚を祝福してもらいたい。

「シバ君おめでとう！」



(写真撮影と本誌への掲載は本人の許可を得ています)

NBSA2009 年度総会報告

去る4月18日(土)に千葉市美浜文化ホールにおいてNBSAの2009年度総会が、会員数66人中34名(委任状26名を含む)の出席をもって開催されました。以下にその協議結果をご報告します。



なお、総会に先立って開催された役員によるネット会議において、決算内容について「ネパール現地活動費の支出明細がわかるようにすること、費目等の表示がわかりにくい」旨の指摘をいただき、総会提出議案書を訂正すると共に、総会において渥美会長の補足説明があり、2008年度の事業報告と決算、2009年度の事業計画と予算については添付の議案書の通り可決されました(添付の関係書類は訂正されたものです)。また、これとは別に次のことが議決されました。

1. 総会の開催時期について

これまで総会は毎年4月に開催していますが、年度当初は日本事務局を担当している「視覚障害者総合支援センターちば」の業務が繁忙で、総会に向けた準備に手が回らないことから、来年度以降の総会は6月に開催することとなりました。ただし、会計年度は4月～翌年3月で、変更はありません。そのため、4月～6月の間の予算執行は会長に一任していただくこととなります。ご了承ください。

2. 会員の増強対策等について

秋を目途にイベント等を開催し、会員の増強と会費の収入増を図る。なお、期日や開催場所・イベントの内容等の詳細についてはネットを通じて会員の意見を聞きながら検討することとなりました。

なお、総会終了後に一般市民30名ほどの参加を得て、渥美会長による「NBSA 現地活動報告」と、ボランティアによるネパール民謡の演奏、有志による懇親会が行われ、大変和やかで有意義なひと時を過ごすことができました。詳細はネットニュース6月号をご覧ください。また、今年度の会費納入が未だの方は同封の振込取扱表をご利用いただきたく、よろしく願いいたします。

写真右：ネパール民謡が大好きなアマチュア・バンド「パンチャ・パリワール」のライブ。

サーランギ(ネパールの弦楽器)、太鼓のリズムに合わせて歌う小島さんはNBSAの会員です。カラフルな民族衣装がとてもよく似合っていました。



2008年度 NBSA カトマンドゥ現地 事業報告

定例活動の部

小説の音訳とカセットテープの貸し出し 作成音訳本 56冊
点字情報誌「タッチ」5回発送
NBSA ネットニュース日本向け 10回配信(08年5月と09年1月休刊)
NBSA 会報 日本から3回発送
現地役員会議 7回 ユーザーの聴聞会 2度開催 年間利用者数:231名

その他の活動

6月 21~22日、日本事務局の高梨さんを迎えて懇親会開催。
30日 ポカラ市の親の会フォローアップ会議開催。
7月 サノティミキャンパスの学生フォーラム支援3日間連続。
9月 生活自立訓練会。キルティプル市の公立学校内。独身男性12名、女性4名参加。
カトマンドゥ盆地内盲学校対校のクイズ大会。
11月 親の会カトマンドゥ会議
12月 国際障がい者デー記念ラリーに参加
国際ボランティアデー NBSA 感謝祭
親の会ミーティング(全国会議準備会)
2009年1月
国際点字の日 一部役員参加
親の会全国会議、カトマンドゥで開催 [1日半]
2月 日本福祉大学の学生と、NBSA 事務所で文化交流会を開催。
同日、カセットテープ・ライブラリー事業に関するヒアリング(聴聞会)を開催。
その他:教材の作成「視覚障がい者と家族のための生活自立ガイド」完成
日本での特別イベント 2008年12月23日千葉県柏市 「ネパールからの報告会」

2008年度 NBSA 日本事務局 事業報告

2008年6月 事務局担当の高梨がネパール訪問、交流する。
10月 アイフェスタイン千葉にてPR 寄付を募る
同月 視覚障害者総合支援センターちば利用者交流会にてPR、寄付を募る
その他、パンフレットを作成し、視覚障害者総合支援センターちば入り口へ置いたり、機会あるごとに持参した。

2009年度 NBSA カトマンドゥ現地 活動計画

ネパール現地事業計画案

定例活動

1. カセットテープ・ライブラリー 作成目標:小説など40冊
2. 点字マガジン 作成と発送 目標:5回 合計250部

以下その他の定例活動:

ボランティア派遣 ウォークマンの貸し出し 白杖の地方への随時配付 古着の回収と発送
NBSA ネットニュース(日本向け)10回~11回配信 / 会報誌(日本向け)年3回送付

事業の部 (施行日未定)

クイズ大会 カトマンドゥで1回 「国際障がい者の日」記念式典と行政行動 NBSA 活動に関する聴聞会 ボランティア感謝祭 クリケット大会支援 (有志支援)

収入面：ネパール現地での収入はあまり見込めないが、2009 年度もカセットテープ・ライブラリー利用者から年会費を徴収し、その他機会あるごとに寄付を募る。年間1万5千円を目標にする。

2009 年度 NBSA 日本事務局 活動計画

日本事務局事業 (活動) 計画案

1. リーフレットを作成して会の活動の理解啓発に努める。
2. 会員の増強に努め、新規会員 15 名 (会費収入 9 万円増) を獲得する。
3. 6 万円を目標に寄付金を募る。

注) なお、2008 年度決算報告書および 2009 年度予算書は、紙面の都合により巻末に記載しました。

ネパールよもやま話 今回は水のおはなし

砒素中毒に苦しむタライの住民

化学の勉強を始めると、118 種類の化学元素が原子量と酸化数をベ - スに原子番号順に整理された周期律表に出会う。その 33 番目が砒素 (As) で半金属元素として自然界に存在し、金、銅、鉛などを鉱石堆積層から採掘、精錬する過程で副産物として中国では世界生産量の約 50% が精製されている。この砒素は、ニューバネショアーに最近設置された交通信号の照明源に使われている LED (発光ダイオード) などの半導体に応用される他、白血病など癌治療薬、木材防腐剤としても使用されているのは、病原菌や昆虫に強力な毒性を持つ所以である。砒素は水溶性なので、その堆積層が地下水層にあたると、溶け込んでしまうから井戸を作って、汲み上げて飲料水として利用すると、砒素中毒を誘発し、皮膚、神経、呼吸器、消化器系の発癌の原因となり人体に大きな影響を与える。

南アジアで川や池の地表水を飲用する人々の間にコレラなど疫病が蔓延した 1970 年代には、バングラディッシュ初め南アジア各国に海外から技術支援が届いて、深度 20m 程度の比較的浅い手押しポンプ式汲み上げ井戸が数多く設置され、地表水に代わって、より安全と期待された地下水が飲用に供されたが、砒素含有に対する水質調査が不十分であった為か?1990 年代に今度は、砒素に汚染された飲料水による中毒患者が激増した。世界保健機構 WHO は飲料水への砒素含有量を 10ppb 以下と規定しているが、その数拾 ~ 数百倍の濃度であったとの報告がある。バングラディッシュのみならず、インド、パキスタン、ネパールではタライのルンビニやサプタリ地方でも同様な事態が発生している。

発生状況から、図 1 の青線で示したような砒素に汚染された地下水脈分布が推測される。環境 NGO の LEADERS; Nepal の事務局長、Mr. Dhiraj は、事態を重く見て、ユニセフとカトマンズ大学の協力のもとに、飲用井戸の水質検査を実施し、砒素含有量が 50ppb を越える井戸の飲用使用を禁止、写真下に示す砒素を除去できる 200 リッター程度のポリバケツ式フィルターを作成して、必要な



地域・家庭に配布・供給している。プトバル近郊のシタルナガールの小学校にも設置されているが、濾過に時間を要するので、生徒たちの飲料要求量に対処できず、近くの川から、プラスチックパイプで地表水を供給せざるを得ない状況である。



当初、20m 前後の深度の地下水脈に砒素が溶融すると推察されていたので、この小学校の井戸を 60m の深度まで掘り下げて地下水を汲み上げてみたが、砒素含有量検査結果は、WHO 基準を大きく上回って、深井戸化を断念した経緯がある。ポリバケツ式フィルターの内部には、何処でも入手可能な、金属の釘、煉瓦、小石、砂が積層されている。砒素は磁性(磁石の性質)も有し、釘の層に付着して、水に溶けない物質に変化するので、ほぼ完全に濾過でき、半永久的に使用できる。煉瓦などの積層物は、黴菌(バクテリア)除去が目的である。

このフィルターは砒素患者の多くに有効に働いて、大きな治療成果を上げているが、一時的な対処療法でもあり、効果的な上水道設備が望まれる。この砒素中毒は、要因解析に 20 年を要した公害ともいえる社会問題である。1900 年代に、日本は悲惨な 4 大公害を初め数多の経験をしている。砒素と同じ化学元素の Cd(カドミウム)が誘発した富山県のイタイイタイ病、同じく水銀(Hg)による水俣病、ダイオキシンのカネミ油事件、硫化水素ガス(SO₂)の四日市喘息が主であるが、解決におよそ半世紀を要している。インターネットによる情報発信が急進展している現在、「先進国の轍を、決して踏まない」情報収集努力を、発展途上国は忘れてはならないし、我々は、具体的な問題に対する積極的なアドバイスを、可能な限り約束する。

クリーン・エネルギー・フォーラム 近藤

NBSA 人気シリーズ ネパールの民話 「商人とアリ」

数百年前、カトマンドゥのラガンバハにハルシャラム・チャンドラという名の商人が住んでいました。この男は商売のために何度もラサに出かけていましたが、いつまでたっても貧しい、名ばかりの商人でした。ある朝、男は家の近くのテクの森に向かって歩いて行きました。急に用を足したくなったので、渦巻く川岸にしゃがんでいると、アリが虫の死骸を川岸に引き上げようとしているのに気づきました。しかし、あと一歩というときに、アリは力尽きて虫を水際に落としてしまいました。アリは急いで水際に降り、虫を捕まえようとしたがまたしても虫を逃がしてしまいました。アリは同じことを 3 回も繰り返しました。商人は、アリががんばり通せるかどうか、じっと見ていました。アリは 7 回目にやって、獲物を引き上げて巣へと戻って行きました。

ハルシャラムは今見た光景に、感極まって泣けてきました。

男は 6 回もチベットに行きました。しかし、毎回商売に失敗し、絶望的になっていたのです。

「アリですら何度も挑戦したのだから、俺も諦めないぞ」とつぶやき、男はアリに励まされ、再び商売をやりなおそうと家に帰って行きました。



そして、ハルシャラム・チャンドラはもう一度ラサに行きました。今度の仕事はうまくいきました。彼は何年かラサで商売を続け、ひと財産を築きました。カトマンドゥに戻ってきた時、ハルシャラムは街から少し離れたチャバヒで伝統的な儀式にのっとり迎えられました。しかし、ハルシャラムは以前と同じように貧しい身なりのままで、チベットでの成功について何も語りませんでした。

ラガンバハの家に着いて、ハルシャラムはやっと旅装を解きました。ラサからの旅路でずっと着ていたとても古いものです。それはつぎはぎだらけで、かなり臭くなっていました。さて、ハルシャラムが仕事に戻ろうと妻に背を向けたとき、妻は匂いに堪えられず、夫の旅装束を路地の隅に捨ててしまいました。服がなくなっていることに気付いたハルシャラムは、妻から外に捨てたよ、と聞かされて大騒ぎして探し回りました。服はまだ路地の隅っこにあったので、急いで家に持ち帰りました。見てくれ、とハルシャラムは言い、妻の目の前で古い服のつぎはぎのひとつひとつを破っていきました。つぎはぎからは次々に金がこぼれ落ち、あっと言う間に、金の山ができて妻を驚かせました。妻はすぐに、馬鹿な事をした自分を許してくれ、と夫に泣いてすがりました。

この金を活かして、ハルシャラム・チャンドラは名実共に裕福な商人になりました。

ハルシャラム・チャンドラは広い土地を買い、毎年パンチャダンの日に修道士に綿の僧衣を贈るために、ネパール民族の共同組合（グティ）を作りましたとさ。

ネパール製品が買えるフェアトレードのお店をご紹介します

NBSA は今年の1月から千葉県柏市の、女性自立支援の店にネパールの障がい者の手作り製品などを置かせてもらっています。今回は売れ行きのよい製品をご紹介します。女性物のスカーフ、エキゾチックで個性的、千円以下のものが人気。ヒマラヤン水晶などの天然石アクセサリー、ネパール製紅茶、しっかり味がでるのでミルクティーに最適です。また世界一高いエベレストから産出される岩塩、コクがあっておいしいと、なかなかの評判です。その他、チベット曼荼羅など貴重な品も置いてあります。岩石などの天然顔料を使っている、珍しい曼荼羅などは、手描きの暖かさが伝わってくる秀作。ぜひ一度ごらんになってみてください。

(店名：ウーマンズライフ) 年中無休 午前10時から～午後8時まで。

電話：04-7140-8933 柏市松葉町6の10の1 青山第二ビル



録音機能付きのウォークマンを寄贈していただけませんか

2年前八王子ライオンズクラブの村山満氏から、合計60台を超える録音機能付のウォークマンを賜りました。これらをサノティミの大学生に寄贈し、一部を事務所で貸し出し用にしてはいますが、リクエストが後を絶ちません。再生機能だけの物は、ネパールでも安価で購入できるので、各自買ってもらうようにしていますが録音機能がついたものは非常に高価で、一般の盲学生では手も足もでません。どなたか録音機能のついたウォークマンをお持ちの方、ネパールの視覚障がい学生のために寄贈していただけませんか。押し入れに眠っているウォークマンでも、ネパールではとても貴重なものです。お手数ですが日本の事務局へ送っていただくと大変助かります。ぜひご協力のほど、お願い申し上げます。

Nepal Blind Support Association (NBSA) P.O.Box:8974、PCN-111 Katmandu Nepal Tel:977-1-4425-709 E-mail: NBSA@mail.com.np / yorikonepal@hotmail.com
日本の事務局: 〒284-0005 千葉県四街道市四街道 1-9-3 視覚障がい者総合支援センターちば内 NBSA 電話:043-424-2501 Fax:043-424-2486 事務局担当者. 高梨 憲司 NBSA HP: http://NBSA.sakura.ne.jp/
維持会費：個人会員年間 6,000 円/協力会員年間 3,000 円/法人会員年間 15,000 円 振込先：口座記号番号 00190-7-762775、(ネパールの視覚障害者を支える会)

2008 年度決算報告

略

2008 年度決算報告（上表の通り）

【監査結果】中山須磨子会計監査役に監査を依頼した結果、2009 年 4 月 8 日、決算書は適正であることが認められました。

2009年度予算書

略